

歴史資料を処分しないで下さい

8月3日・4日の豪雨に際し被災された方に心からお見舞いするとともに、災害対応にあたっている方々に敬意を表します。私たちは災害から歴史資料を護ることを目的に中越大震災を機に結成されたボランティア組織です。

これまでも、水害の片付けなどの機会に、家や集落の貴重な歴史資料が失われてきました。このような歴史資料は**泥水に浸かったあとでも復旧することができます**。歴史資料を護ることは、復興の際の心のよりどころに繋がります。片付けの際にそのような歴史資料を見つけたら、廃棄せずに最寄りの市町村役場文化財担当部局、博物館、または会場までご相談ください。

■歴史資料とはどのようなもの？

古文書（和紙に墨で書かれた書き付けや帳簿）、古い道具。古い写真
自治会や地域の共有帳簿など

■片付けボランティアの方へ

片付けボランティアの方が上記のような歴史資料を発見することもよくあります。見つけたらお宅の方に報告し、保全を呼びかけてください。

■当面自力で出来ることは？

右のサイトをご参照ください <http://siryo-net.jp/資料の修復方法/>

新潟歴史資料ネットワーク(新潟史料ネット)

新潟市西区五十嵐二の町 8050 新潟大学原直史研究室気付

<http://nrescue.s1006.xrea.com/> hara@human.niigata-u.ac.jp